

平成22年5月8日[土]  
14時開演

料金 【前売・当日 全席指定】

一般 8000円

シニア 7500円 (60歳以上対象)

学生&ユース席 2000円 (25歳以下対象/座席範囲指定あり)

京都芸術劇場友の会 7000円 (先行発売あり・年会費2000円)

京都芸術劇場 春秋座

(京都造形芸術大学内)

主催 京都造形芸術大学

制作 株式会社おもだか 協力 松竹株式会社

後援 KBS京都/京都新聞社

市川猿之助 芸術監督プログラム

# 春秋座歌舞伎舞踊公演

藤間紫を偲んで

『歌舞伎舞踊への誘い』

長唄 橋弁慶

長唄 相模蛸

長唄連中 杵屋勝四郎社中

鳴物連中 田中傳次郎社中

市川笑三郎



市川段治郎



市川弘太郎



市川猿紫





市川猿之助 芸術監督プログラム

# 春秋座歌舞伎舞踊公演

平成22年5月8日(土) 14時開演

## 『歌舞伎舞踊への誘い』

市川笑三郎ほか

春秋座では春に歌舞伎舞踊、秋に歌舞伎公演を開催しております。市川猿之助芸術監督復帰後二回目となる今回の春公演では、上演だけではなく、お客様が歌舞伎に一層親しんでいただけるよう特別プログラムとして「歌舞伎舞踊への誘い」と題し、ラジオのディスクジョッキーや歌舞伎の解説などでも活躍する市川笑三郎が歌舞伎舞踊の魅力をお伝えします。

上演する二演目の内容はもちろん、踊り・音楽・衣裳など歌舞伎舞踊の様々な魅力を歌舞伎役者ならではの視点で解説します。

歌舞伎を初めて観る方から歌舞伎通の方まで、楽しんでいただける内容です。

### チケット

平成22年2月5日(金) 発売開始

前売・当日(全席指定)

一般 8,000円  
シニア 7,500円(60歳以上対象)  
学生&ユース席 2,000円(25歳以下対象/座席範囲指定あり)  
京都芸術劇場友の会 7,000円(先行発売あり・年会費2,000円)

□学生&ユース、シニアは要身分証明書提示  
□学生&ユース席は京都芸術劇場チケットセンター及び京都・滋賀各大学生協プレイガイドのみの取り扱い

### チケット取り扱い

#### ■京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240 平日10:00-17:00

#### ■劇場オンラインチケットストア ※要事前登録(無料)

パソコンから <http://www.k-pac.org/>  
携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

#### ■電子チケットぴあ

tel.0570-02-9999  
Pコード: 401-357  
<http://t.pia.co.jp>



劇場モバイルサイト

#### ■KBS京都事業部

tel.075-431-8300  
電話のみ/10:00-17:00 ※土・日・祝除く

#### ■京都新聞文化センター(京都新聞社1F)

tel.075-256-0007  
窓口のみ/10:00-17:00 ※土・日・祝除く

#### ■京都・滋賀各大学生協プレイガイド

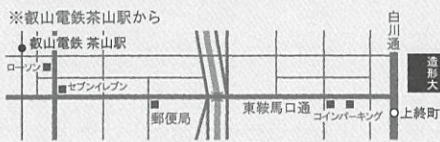
### 問合せ先

#### 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116  
tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

## 京都芸術劇場 春秋座

(京都造形芸術大学内)



- ◎ JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から  
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車  
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
- ◎ 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から  
京都市バス204 循環に乗車、  
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
- ◎ 京阪電鉄出町柳駅から  
叡山電鉄に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの  
ご来場はお断りします。

## 長唄 橋弁慶

弁慶 市川段治郎  
牛若丸 市川弘太郎  
従者 市川猿 紫

明治四十五年東京歌舞伎座にて二世市川段四郎、十二世片岡仁左衛門が初演。作曲三世杵屋勘五郎。詞章はほぼ謡曲通り。

松羽目物。『鬼一法眼三略巻』の五段目を舞踊化。京の五条橋での牛若丸と弁慶の出会いを描き、弁慶の骨太の剛と能風の上品さが程よくマッチした作品。

幕が開くと従者を連れ大薙刀をもった弁慶の名乗り。丑の刻詣りを止められた弁慶は、神変不思議の腕達者が出没すると聞かされ、その化生の者をたいらげようと、葛桶に掛けて待ちかまえる。

そこへ女の姿をした牛若があらわれ、すれ違いざま、弁慶の大薙刀をポンと蹴りあげ、弁慶はツツと転びかける。大薙刀と太刀とで闘いあう弁慶と牛若丸。「稀代なる小人かな」と大きく口を開いて驚いた弁慶は、降参して主従の盟を結ぶ。

## 藤間紫を偲んで

## 長唄 相模蟹

蟹 市川笑三郎  
こち 市川猿 紫

文化八年江戸中村座にて三世中村歌右衛門が初演。作詞篠田金治、作曲九世杵屋六左衛門。

題名通り相模の江ノ島を望む海辺で、海女乙女が貝拾いに興するさまを舞踊化したもので、三下りへ君が姿を見染めてそめて。以下貝づくしを唄いこんだ文句の踊り地は、山田流の琴唄「江ノ島」からの転用といわれている。

当時上方で流行した「千両とるとも馬方よしやれ」と唄う馬子唄や貝づくしなど、広重の浮世絵にでもあるような風情を楽しめる。

今回は、初世藤間紫の振付によるもので「漁師」の趣向を取り入れ、鯛(こち)を絡ませた演出で上演する。